



青翔 SSH 新聞

第19号

令和3年3月1日
奈良県立青翔中学校・高等学校
理数SSH部
〒639-2200 奈良県御所市525
TEL 0745-62-3951
中学 <http://www.e-net.nara.jp/jhs/seisho>
高校 <http://www.e-net.nara.jp/hs/seisho>

8年連続日本学生科学賞最優秀賞受賞 7年連続日本学生科学賞学校賞受賞

知事賞
(最優秀賞)

高校3年 鍵本圭斗 神波快斗 東中川陽太 安田昌史

研究テーマ「二上山におけるナラ枯れ被害の回復状況」



研究内容要旨 我々は、二上山におけるナラ枯れ被害を調査し、分析を行った。ナラ枯れとは、シイ・カシ類が感染する樹木の病気の一種である。二上山では2016年に初確認され、ナラ枯れによるナラ樹木の倒伏による里山環境の悪化が進行しており、ナラ枯れ被害に対する早急な対応が求められていた。そこで我々は、17年秋から19年秋にかけて、二上山におけるナラ枯れ被害木の推移を記録した。我々の17年～18年の結果により、二上山における被害は拡大しており、今後さらに悪化していく可能性が高いと分析した。しかし、19年度の研究では被害の拡大速度は低下しており、回復している木も多くあることから、現在、被害は安定した状態に入ったと結論付けた。今後のナラ枯れ被害に対する対応は、今までの拡大期とは異なった対策が必要になると考えられる。

メッセージ 受賞に際して、多くの方々から祝福の声をいただき、メンバー同心より感謝しています。私たちは3年間、継続して同じ研究を行ったのですが、その中で、うまく結果が出なくて苦しい時期もありました。しかし、研究チームの仲間とともに話し合い、とことん自分たちの研究を見つめることで、苦難を乗り越えることができたと感じています。後輩の皆さん、探究活動の中で、大変なことも多くあると思いますが、それを乗り越えることがさらなる飛躍へとつながります。仲間や先生方とともに、真理の探究を目指して頑張ってください。

県商工会議所連合会長賞

高校2年 阿部空也 家島蔵之助
谷井阜起 藤本完

研究テーマ
「輝線に見るセイフィート銀河の性質」

優秀賞

高校3年 笠谷真由 丸橋春日

研究テーマ「打撃によって形成されるケイ砂層の表面模様について」

SS探究科学研究発表会

令和3年2月21日
さざんかホールにて実施

最優秀賞

高校2年 北隅奈王 高見明日香

研究テーマ「野菜スプラウトを低カリウム濃度にする方法の確立」



「スーパー探究科学」において、様々な実験・実習を基にした学習を行うことによって、常に「知的な面白さ」を感じながら学ぶこと、そして確かな「課題発見・探究・解決能力」が身に付けられることを目的に日々励んできた成果を各代表班が発表しました。タイの姉妹校Princess Chulabhorn Science High School Nakhon Si Thammaratの皆さんもZoomを活用して参加していただきました。新型コロナウイルス感染予防のため、中学3年から高校2年までの参加となり、他の皆さんはWebでの視聴となりました。また、今回はNHKの取材が入り2月24日「ならナビ」で放映されました。

指導助言者として
奈良教育大学元学長長友恒人先生
奈良女子大学特任教授春本晃江先生
にご講評をいただきました。



祝 優勝

第10回科学の甲子園奈良県大会

高校2年 阿部空也 家畠蔵之助
金森恵子 駒井洸成
西岡穂平 山本隼輔



受賞者の体験談 科学の甲子園奈良県大会の優勝は我々の悲願でした。

科学の甲子園は、筆記試験、問題が事前に公開された実験①、当日に問題が与えられる実験②の3種目を行い、合計点を競うというものです。

筆記試験が一番厳しい種目でした。例年より難化した問題に直面し、各々が試験終了後に「第0問うまくできなかった...」と自覚していました。この時は「優勝」など頭の片隅にもありませんでした。しかしここから、青翔の実験での強さがいかに発揮されたのです。まず、最初は実験②。私たちはこの競技でなんと1位。青翔で養った実験における独創性で他校に差をつけました。続く実験①。私たちは1週間にわたり放課後はPC室に集まり、この競技のために試行錯誤し、与えられた条件をクリアするべく必死に取り組みました。(放課後、PC室で実験しながら大騒ぎする我々の様子を見た生徒も少なくないでしょう。)疲労を感じつつも、好奇心、探究心、勝ちたいという思いでがむしゃらに挑み続けました。この競技の結果は3位。総合1位を獲得しました。準備通りの結果が本番で出せた喜びはひとしおでした。

科学の甲子園は6人1チームの団体戦です。チーム一丸となってひたむきに課題に向き合い、挑んだことが最高の結果を呼び込んだと思います。最後に県立教育研究所の先生方、木南先生をはじめ多くの方々にお世話になりました。

ありがとうございました。

全国大会へ出場決定

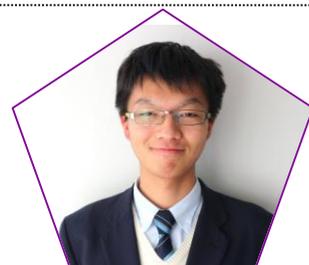
令和3年3月19日～22日
茨城県つくば市にて開催予定

受賞者の決意 予選では、自分たちの弱さも痛感しました。そこで、私たちは現在、予選で気づいた弱点(主に筆記試験)を各自でしっかりと強化し、探究活動を通して実験という強みを磨いています。全国大会で与えられる課題は、困難を極め、相手校のレベルも格段に上がるでしょう。しかし、私たちのチームワーク、そして皆さんの応援があれば必ず乗り越えられると確信しています。支援して下さる皆様への感謝を忘れず、全国の科学好きとの交流を広げ、青翔の名を発信してきます。青翔高校ここにあり!そんな戦いをして来ますので何卒応援よろしくお願ひします!!!

第13回地学オリンピック 本選出場決定

高校2年 阿部空也

令和3年3月15日開催予定



受賞者の決意 地学オリンピックの本選の筑波開催は中止になってしまった。2年連続で本選通過しながら一度も筑波に行けないのは残念でならない。だが、このコロナ禍でも本選がある喜びをかみしめ、存分に自分の実力を発揮します。

SSHサイエンスギャラリー Web開催

令和2年7月25日～30日アップ期間
26日コアタイムを実施



今年はオンライン会場にて、本校生徒とSSH校の福島県立福島高校・奈良女子大学附属中等教育学校・東海大附属高輪台高校・ルネサンス大阪高校・神戸商業高校に参加いただき、探究活動の取組について発表しました。コアタイムには、奈良女子大学の山内先生・橋爪先生をはじめ、京都大学大学院生・大阪大学大学院生の方々へ指導・助言をいただきました。